



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

### 新型インフルエンザ

#### 市が対策本部を設置

新型インフルエンザの感染が関東でも確認されたことを受けて、本市でも21日

午後4時、危機管理対策本部が設置されました。本紙前号でお伝えした連絡会議を格上げしたもので、部長は市長、事務局は総務課に置かれます。

## 新病院建設・市政座談会

### 関心たかく会場いっぱい参加者

新病院建設の課題を控え、市では、18日・関本多目的研修集会所を皮切りに地域

説明会を始めました。関本では120人、平潟では80人を超え、どちらも会場いっ

連続開催  
市内7ヶ所  
6/1まで



参加者と、  
豊田市長  
（関本会場）  
質問する



市立  
病院の轟健院長  
（平潟会場）  
発言に立つ

ばいの参加者でした。まず市長から、市政全般、特に財政の立て直しに力を入れていくこと、新病院とゴミ焼却場建設が必要であることが報告されました。また、病院の候補地や、建て直すにあたって介護や福祉施設も併設するイメージ図が示されました。市立病院の新院長もあいさつに立ち、「まだ就任一ヶ月半だが、経営的にも立て直しはできる。全力で地域医療のためにがんばりたい」との発言がありました。質疑応答のなかでは、経費60億円の調達や施設設備費の内訳についての質問がありました。1〜2割の基金を元に、国からの起債を考えていること。病院には設備費を含め40〜50億円、ほかの施設は調達できる資金力によって同時に、もしくは順次に着手していく考えが示されました。医師確保については、現在の診療科を確保できるよう、整形外科医など努力を重ね、現在も招へい中であ

ることが紹介されました。県が発表している医療機関の統廃合計画について、市長は「市民自身の総意が肝心であり、市立病院として独自に充実、建設をはかる」と明言しました。

新市立病院の建設候補地と面積、および造成・取得費（概算）



## 市職員などの報酬カットの議案

全協で説明

5月18日、市議会議員全員協議会が開催され、定例市議会に提案される予定の市条例が市執行部から報告されました。市職員と市三役（市長・副市長・教育長）および議員の夏期一時金を減額する内容です。5月1日に発表された今回の人事院勧告によれば、国家公務員の夏季一時金が、本来の支給額から0.2ヶ月分減額して1.95ヶ月分にするとしています。

これにならって、市職員については0.2ヶ月分、市三役は0.6ヶ月分を減額する方針です。さらに市

議は、議員提案で0.31ヶ月分の減額修正が出される予定です。議論の中で福田明議員は「議員や三役が減額されるのは理解できるが、国は景気回復のためには内需拡大が必要だとして、善悪はともかく定額給付金や15兆円のバラまき補正予算を国会に提出している。そのいっばう公務員の一時金を減額すれば内需や地域経済が冷え込ませることになる。今回の人事院勧告に対して市長は矛盾を感じないのか」と質問しました。市長は「人事院勧告は受

## 中学校の修学旅行は延期

また、新型インフルエンザの感染拡大に絡んで、5月22日から関西方面への出発が予定されていた市内中学校の修学旅行についても議論になり、市長と議長名で、この日程での修学旅行は中止するよう教育委員会に要請することが確認されました。協議の結果、修学旅行は8月下旬に延期されることが決まりました。